



THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2026年3月

札幌クラブ

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

CS/Green Project / ワイズメネット

CHARTERED IN

一主 題 NOVEMBER 21, 1955

国際会長

Faith, Love, Action

Edward Ong (シンガポール)

アジア会長

Act now with faith and love!

田上 正 (熊本むさし)

東日本区理事

『ワイズのらしさ再発見』

山下 真 (十勝)

Rediscovering Y's Uniqueness

北海道部部长

「Well Being なワイズライフを」

柴田 伸俊 (札幌)

札幌クラブ会長

「充実した人生を送るためのワイズ活動」

小野 健 (札幌)

札幌クラブ役員

会 長 小野 健
副会長 山崎 修
書 記 本宮 大輔
会 計 秋葉 聡志
直前会長 小野 健

なぜ、生きておられる方を死人の中に捜すのか。

ここにはおられない。復活されたのだ。

ルカによる福音書 24 章 5 節 (安田 文子 選)

巻頭言 YMCA CAMP のサステナビリティ

伏木 康

コロナ前、北海道 YMCA ではチミケップキャンプ場に ICCP リーダーを呼んで 5 泊 6 日の国際キャンプを実施、中高生の国際交流を行っていた。コロナ後は施設の老朽化もあり、北見市内近郊の幼児、小学生を対象としたディキャンプと 1 泊キャンプが中心である。札幌近郊のキャンプでもコロナを境にキャンプでの宿泊数の減少、参加者の低年齢化が進んでいるような気がする。先般、札幌 YMCA のリーダーに聞いたところ、今年の夏は一度もキャンプファイヤーを実施する機会がなかったとのことであった。

また、昨年、余島で開催された全国リーダー研修会に北海道から送るユースもいなかった。一方、東京 YMCA のウェブサイトを見ると「ダイナミックサマー」という名称でニューヨーク州フロストバレー等の海外のキャン

プ場に長期間キャンプ生活を送る海外交流プログラムが準備されている。以前は北海道でも海外のキャンプ場へのツアーを募集していたことがある。

私は高校生の時(47年前)に北海道 YMCA が主催するミシガン州のキャンプ場 (<https://hayowentha.org/>) の 3 週間ツアーに参加したことがある。米国のキャンプ場で国際基督教大学の丹羽芳雄先生(2024 年にご逝去)に出会い、野外でのキャンプの大切さを教えていただいた。

北海道 YMCA のキャンプ(冬のルスツなどのスキーキャンプも含め)、中高生も参加してもらう 5 泊 6 日のキャンプはもう組めないだろうか。

北米発祥 YMCA 「組織キャンプ」を理解するためには一定の期間が必要であると思う。

北海道に海外ユースを呼ぶインバウンドでも、道内ユースを道外に送り出すアウトバウンドでも。

2020年に『YMCA キャンプ100年』というキャンペーンが展開されるはずであったが、コロナ騒動で中途半端に終わった。今年にはキャンプ106年、キャンプ第2世紀もYMCA CAMPを次の100年へ向けて受け継いでほしい。

ユースエンパワーメントには、CAMP生活で「みつかる」「つながる」「よくなっていく」を感じてもらいたいのが有効だと思う。今年の夏こそ「IGNITE」期待しています。



札幌ワイズメンズクラブ 2026年3月例会

日時：2026年3月17日（火）18:30～20:30

会場：札幌YMCA 101教室+リモート

会費：1,500円

司会 山崎 修

- ① 開会点鐘 会長 小野 健
- ② ワイズソング、ワイズの信条 全員
- ③ 今月の言葉・なぜこの言葉を 安田文子
- ④ 開会あいさつ 会長 小野 健
- ⑤ 誕生日 なし
- ⑥ 結婚記念日 なし
- ⑦ 卓話 田口圭三氏 (region株式会社 代表取締役)
「保険薬局～過去から未来～」
- ⑧ 諸報告
- ⑨ YMCA報告 担当主事 北川 佳治
- ⑩ 今月の歌
「花」 瀧廉太郎 (秋葉 聡志 選)
- ⑪ 閉会点鐘 会長 小野 健



2026年2月例会	在籍会員 11名	出席者 6名	メネット 2名	メイクアップ 0名
出席報告	ゲスト 0名	ビジター 5名	出席者合計 12名	出席率 55%

札幌ワイズメンズクラブ 2026年2月例会

日 時：2026年2月7日（土）、8日（日）

会 場：カムイスキーリンクス&三浦華園

出席者：秋葉、小谷、柴田、安田、山崎
ビジター 5名、メネット2名

出席者計 12名



懇親会後の集合写真

O2月合同例会報告

報告者：柴田 伸俊、秋葉 聡志

内容：

昨年に引き続き、スキー合同例会を2月7日（土）～8日（日）に開催しました。今回も前回同様、アクティブに滑る「スキーチーム」と、のんびり楽しむ「温泉チーム」に分かれて実施しました。

スキーチームの会場はカムイスキーリンクスです。参加者は、1日目はオリンピックの山崎メン、北見クラブのスキー指導員・古賀メン、そして秋葉メン・メネットの4人でした。古賀メンはSAJスキー指導員で、現在も基礎スキーのマスターズ大会に出場している現役選手です。山崎メンに「古賀さん、速いわ！」と言わしめるほどのスピードマスターで、勢いよく滑っていました。昨年は山崎メンの後をついていくのに精一杯で、カムイのコースを十分に把握できていませんでしたが、2年目の今年はほとんどのコースを滑り、ばっちり把握できました。温泉チーム（中村メン、安田メン、柴田メン・

メネット）は当初、増毛温泉ルートを計画していましたが、日本海ラインの天候不良のため、急遽「ラーメン村（旭川）食べ歩き」と「男山（旭川）見学」に変更しました。インバウンドの影響でラーメン村は20分ほど外国の方々に混じって並び、ようやく美味しいラーメンにありつけました。ところが、私たちが帰る頃にはどの店舗もガランとしていて、「さっきの賑わいはどこへ？」という状態に。インバウンド対応もなかなか大変だな…と、しみじみ感じました。続いての男山見学では、安田文子流の試飲方法を伝授してもらい、酒ソフトも堪能。ぎりぎりの時間でホテルに到着しました。

ホテルでは、本来レストランで合同例会と懇親会を行う予定でしたが、ホテルとの打ち合わせの行き違いもあり、2階部室での合同例会となりました。さらに会員間の連絡の行き違いも重なり、例会は20分ほどで終了しました。山下理事から東日本区の状態をご説明いただき、今後のクラブ交流の在り方についても話し合いました。

18:00からのレストランでの交流会では、各会員やクラブの思い、今後の計画などが発表され、和気あいあいとした懇親会になりました。来期の合同例会は古賀会員（北見クラブ）にバトンタッチし、散会となりました。



例会の様子

2日目は、山崎メンが娘さんのスキー大会のため美唄へ、古賀メンは朝から帰路へ。メンバーが入れ替わり、2日目から参加の伏木メン、十勝クラブの山下メン、秋葉夫婦の4人で滑りました。1日目とはペースが変わり、秋葉が先導して、ゆっくり刻みながら全コースを制覇。山下メンは山スキーのテレマークで颯爽と滑走し、カムイ広しといえどもテレマークは唯一人でした。伏木メンも相変わらず軽快な滑りで、曲がったストックはそろそろ買い替えた方がよいかもしれません。伏木メンと秋葉夫婦は昼食後に帰路につきましたが、山下メンは午後も一人で楽しんでから帰ったようです。カムイスキーリンクスは広くて素晴らしいスキー場で、やはりスキーは楽しいですね。宮崎メンが腰の不調で欠席だったのは残念でした。せっかく深雪用のスキーを買ったので、来年はリベンジです。

YMCA ニュース 担当主事 北川 佳治

<YMCA ピンクシャツデー2026>

2月は、ピンクシャツデー（いじめ反対）運動強化月間として、全国各地のYMCAで様々な取り組みが展開されました。

札幌でも、たくさんの会員が賛同してくれたり、昨年に引き続き、エスポラーダ北海道（プロフットサルリーグ）の選手がイベントに参加してくれたり、とピンクの輪を大きく広げることができました。

また、今年は、とちぎ帯広 YMCA が地元で繋がった、絵本作家の おがわひろき さん、ちばこうじ さんに特別に作成いただいた（いじめ反対をテーマにした）絵本「ベリベのいろ ぼくのいろ」を札幌にも共有していただき、その読み聞かせなどを通して、皆で「いじめ反対」の理解を深めました。

1人でも多くの人達が、互いを尊重し、大切にし合える世の中を目指して、日本最北の地からも発信し続けます。



<小学校スキー学習サポート>

1月～2月にかけて、札幌 YMCA 近隣の小学校5校に対して、地域協力の一環としてスキー学習への指導者派遣を行いました。YMCA スタッフおよび YMCA スキースクールに登録されている SAJ 公認インストラクター、延べ30名分の派遣となり、対象児童は400名程になりました。

YMCA のリソースが地域に活かされ、「よくなる。」の連鎖がまた一つ繋がったと思われます。

尚、この内の1校は、来年度より小学校プールを廃止し、YMCA のプールにて水泳学習を行う予定となっております。新たな繋がりが生まれそうです。



何故この言葉を 安田 文子

今年の復活祭は4月5日（日）ですが、ポーランドで暮らしていた時は、復活祭は重要な日でした。復活祭の46日前から始まる節制や断食を行う期間の「四旬節」直前の木曜日を「脂の木曜」という、ドーナツをたくさん食べる日があったのが楽しい思い出です。この言葉は、陥りがちな「過去の執着」や「絶望的な状況」への問いかけでもあります。しばしば、終わってしまったことの中に答えを探して立ち止まってしまう。

しかし、復活のメッセージは、「答えはそこにはない、顔を上げて前を見なさい」と言っています。この言葉のように、前を向いていきたいです。

札幌クラブ 2026 年 2 月事務会報告

秋葉 聡志

日時： 2026 年 2 月 17 日（火）19:00～20:00
場所： オンライン
参加者： 小野（長）・秋葉・柴田・伏木・宮崎・山崎

1. 3 月号ブリテンについて

原稿執筆担当者、ブリテン編集担当（仮）などを資料に基づき協議、決定

2. 3 月例会について

日時：2026 年 3 月 17 日（火）18:30～20:30
場所：札幌 YMCA 101 教室（ハイブリッド）
卓話：田口圭三さん（region 株式会社代表取締役）

3. 2026 年 4 月以降の例会卓話について

卓話候補を確認し、アサイン担当を確認した。

4. 東日本区ワイズ関連確認

- 2026 ユースアクションは今年度行わない。
- 東日本区大会@石巻の参加者の確認
→小野・柴田・伏木が参加予定（遅参含む）

5. 京都パレスクラブ 55 周年記念例会への参加

- 小野会長は参加する
- 他メンバー（他クラブも含め）の参加予定を確認する。
- 2 月末までには申し込みをする予定

6. 次期の役員体制と役員研修会の参加者

候補メンの諸事情を鑑みて小野会長が会長を再任することで合意し、以下の体制とする。

会長：小野 副会長：山崎

書記：本宮 会計：秋葉

役員研修会@東山荘（3/14～3/15）は小野会長が参加する。

7. その他

- 室内サッカー大会 2/23（月）
ワイズメン参加できず、YMCA に委任
- ワイズベル杯水泳発表会 3/1（日）
柴田メン 挨拶・コーヒーサービス
- 北海道部主査確認
ユース：宮崎 Y サービス：小谷
- 十勝クラブ 50 周年 8/29（土）@中札内
部会と一緒に実施する。

何故この歌を！ 秋葉 聡志

東京上野で生まれ育った私は、小さい頃祖父母、両親、叔父叔母など、大家族で暮らしていました。祖父はイベント好きで、近くの隅田川に一家で舟遊びに出かけたことがありました。屋台舟を借り切って、川を上り、船頭さんが投網で川魚をとって船上で天ぷらなどにして食べました。今では考えられない、そんな時代がありました。この歌を聴くと当時の情景が浮かびます。



以上